

## 【課題】

### 統計改革の遂行

～改革を支えるため、  
専門技術能力の一層の強化と、各ステーク・ホルダーの信頼確保

## 【検討中の取組】

- 行政記録情報や自治体・民間の保有データの統計的利活用推進について、統計委員会が技術的観点、公正確保の観点から支援
- 統計委員会の専門技術能力について、専門知識を有する委員等の充実、事務体制の充実(民間専門家の登用等)の両面から強化
- 統計委員会の公正性・中立性を強化するため、各ステークホルダーを代表する委員を確保し、議論に意見を反映

### 改革を一過性にしない 取組(運動の継続)

～今後の変化への迅速・的確な対応

- 統計委員会の自律性を強化するため、諮問によらず、自らの判断により課題を設定して審議し、建議を行う仕組みを整備
- 統計委員会による棚卸等を支えるフォローアップ機能を強化
- 委員会自らの判断による課題設定等に資するため、国際的な動向を始めとする情報収集機能、各方面からの要望把握機能を充実
- 統計委員会の意見や建議の実効性確保のため、勧告機能を付与

### 説明責任の強化

～統計委員会業務への外部の目の導入

- EBPM推進委員会は、EBPM推進の観点から、統計委員会の業務や政策立案に用いる統計の品質に関し、必要に応じ統計委員会に意見
- 報告者、ユーザーに直接向き合うため、意見募集における統計委員会の業務に関する意見については、統計委員会自ら対応
- 統計委員会は、自らの説明責任を果たすため、第三者を含めた評価チームを設置し、毎年度統計行政や統計の品質に関する評価・公表を実施